支部だより

配達協力者懇親会
健康から政治まで

高石ブロック

今年度高石ブロックでは、26人の参加で、支部ごとに配達協力者懇親会をおこないました。日頃、顔を合わせることが少ない配達協力者の皆さんにお集まりいただき、配達に関することだけではなく、健康や情勢・政治など様々な会話がはずみ、楽しいひと時を過ごすことができました。参加してくださった皆さん、お忙しい中、ありがとうございました。

高石中央と高石北支部合同

懇談会の中で、高齢にもかかわらず、40部近い部数を配達されている方から「もう、しんどいので、配達はやめさせてほしい」との申し出がありました。この方は2～3年前まで、80歳をこえて、70部ほどの配達をされていた方です。今まで無理を言ってお願いしてきたのでそろそろ限界かな？とは思いましたが「おうちの周辺の10件ぐらいでも良いので、お願いできませんか？」と、図々しくおねがいしたところ、何とか承諾をいただけました。ご本人も「少しぐらいなら、月1回だけなので良いかな？」と考えられたようです。

高石南支部

高石ブロックでは、お一人で100部近くを配っている方が何人もおられます。今後、配達にご協力いただける方を、一人でも多く見つけ出し、一人当たりの配達部数を減らしていけるよう、事務局として、努力していかねばと思います。

（事務局）

介護の現場から ⑯

在宅生活の継続に深刻な問題が…
（生活援助の上限設定）

耳原ヘルパーステーションともうず
介護科長
小川　頼子

厚生労働省は2018年4月の介護報酬改定で、生活援助の利用回数に上限を設定する方針を示しました。「ケアプランの適正化」の一環とされています（2018年10月実施予定）。

生活援助を多く利用する背景には、本人・ご家族の事情（認知症、疾患・障害がある、一人暮らし、家族の充分な支援が出来ない、費用面で施設入所は困難）や、地域の社会資源の基盤が少ない、さらにこの間の制度改悪（生活援助の時間短縮、特養の入所制限等）など様々な事情があります。

生活援助の利用回数を一律に制限することは、こうした事情を抱える利用者の在宅生活の継続を困難にするものです。（例えば認知症の方の食事の提供、服薬・安否の確認など生活援助で行なっています。）

さらに重大なのは、この回数を毎年見直そうとしていることです。統計的な手法で決め、個々の事情・実態を反映しない、サービスの必要性とはまったく関係がありません。いずれ要介護者の生活援助も介護保険から切り離し、地方自治体の安い独自サービスに移行されようとしています。

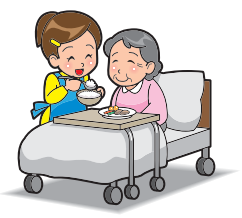
生活援助は在宅生活を続けていく上で、なくてはならないサービスです。新たな利用制限の仕組みの導入を、許すことはできません。介護職員をはじめ職場や地域の皆さんで、中止・撤回の訴えをしていきましょう。

介護職員募集

「デイケア・介護施設・在宅訪問ヘルパー・高齢者住宅・病院」など、高齢者や障がい者の方の生活を支えるやりがいのある福祉の仕事です。無資格の方も歓迎します。但し、みみはらグループ主催の介護職員初任者研修（９月開講）を受講していただくことが条件です。

働き方は、週に２～３回の非常勤からフルタイムまで要相談。

ぜひお電話ください。



お問い合わせ・連絡先
- NPO法人結の会ともうず（大坪）電話 072-280-5887
- 社会医療法人同仁会　介護事業部（牧）電話 072-244-7140

Letter お便り

会員さんから「とも」に届いたお便りを紹介します。

健診はいつも
北区百舌鳥西之町　西尾　紀子

後期高齢者の健診はいつも耳原でお世話になっています。

来年の桜も
西区宮下町　山内　久美子（61歳）

今年も耳原総合病院近くの桜がきれいに咲きました。つい自分の年を重ねるごとに来年も桜を見たいなあ？と思うようになりました。検診を受けて、まだまだがんばらなくちゃ！

感心しています
南区原山台　二瓶　卓（89歳）

ともの記事を拝読して、いつも感心しています。隅から隅まで読んでいます。4月号では「聴診器」「現場からの視点」も含めていろいろ考えさせられました。また、投稿の「私の戦争体験」も同様でした。

奥野　陽子

「戦争体験」のこと
大阪市天王寺区茶臼山町　吉田　良男（61歳）

「戦争は集団人殺しです」（瀬戸内寂聴さん）戦争につながる全ての動きに反対します。「戦争体験」は大変重みがあります。

ためになります
北区新堀町　松本　真弓（41歳）

とも4月号ありがとうございます。いろんな情報がのっており、読んでいてためになるなあと思いました。クロスワードは毎回楽しみにしています。

廣藤　美智枝

終活しながら
西区浜寺諏訪森町中　前田　洋子（77歳）

この3月で仕事を卒業しました。今日から終活をしながらボランティア活動にも励みます。よろしく…。

母娘でクイズ
富田林市寺池台　加納　亜紀（33歳）

いつもクイズを母が解いて、私がハガキに書いています。ありがとうございます。

澤江　梅香

参加型の催し
堺区西湊町　豊田　静江（70歳）

参加型の講習会や催しをされていて結構だと思います。

3000万署名
西区家原寺町　角野　元美（62歳）

会報紙「とも」で「3000万署名」の事を知りました。2月19日から毎月9のつく日に各病院前で署名の取り組みをされているので、ぜひ参加しようと思っています。

元気になって
西区鳳中町　北　輝美（70歳）

いつも友の会新聞配達ありがとうございます。昨年11月末に総合病院で手術受け、今こうして元気になり、ありがたく思っています。これからも皆様応援しています。

気になる「お口のケア」
堺区向陵中町　東條　希美（29歳）

「お口のケアで免疫アップ」内容が気になりました。子どもは虫歯、私自身は歯周病…教えてもらいたいと思いました。